

## ファンドの価値観～Common Values(コモン バリューズ)～ 今日よりよい明日を育む長期投資

### 今月のコモンズレター主な内容

P2 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください

P2 運用状況をチェック！

P4 こどもトラスト、企業との対話、SEEDCap情報等、コモンズの活動はこちらをご覧ください

### 【ファンドを磨き続ける】

年初に出された今年の経済見通しや株価見通しはとても明るい印象でしたが、直ぐに米国とイランとの対立の激化、そして、新型肺炎の拡大懸念で株式市場はいきなり景色を変えてしまいました。日経平均株価も23,000円の大台を割り込みました。株価だけをみていると不安にもなりますが、私たちは株価ではなく企業に投資をするスタンスなので、少し見方も違いますし、行動も違います。私たちは、投資信託という金融商品を毎日磨き続けています。それは、日々、投資先を何社も訪問し、電話をしてコンタクトをとり対話を継続することによって、投資先の状況を常にアップデートしていくこと。また、株価の大きな変動に対しては、一部売却や買い増しなどによってファンドの資産を守り殖やす作業を丹念に行っています。まさに、投資信託の生産者として商品を毎日、毎日、磨きこんでいるのです。

例えば、今回の新型肺炎が発生すると、直ぐにその影響を確認する作業が始まります。突発的なアクシデントが起こると、その企業の対応力も改めて認識できます。投資先企業であるエーザイさんからは、「現地での対応活動を支援するため、当社の中国子会社を非営利団体である武漢市慈善總會(武汉市慈善总会)に100万元(日本円で約1600万円)の義援金を寄付することを決定しました。また、現地の医療機関に対して、医薬品の提供を行います」とのメッセージをいただきました。また、中国での生産比率の高いマキタさんからは、「日頃から多めに在庫を積んでいるので、そんなに影響は出ることはない」との回答もいただきました。私たちは、皆さまから託されている資産の預け先ともいえる投資先企業との対話を欠かし

## 渋澤と伊井の「今月の想い」

ませんし、日々、メンテナンスをしています。先日も、皆さまから問い合わせの多くなっているセブン&アイHDさんに担当アナリストの上野と訪問し長期的な視点での対話をしてきました。コンビニエンス業界は、いまや国民のインフラともいえますが、時代とともに課題も変わっています。今回は、デジタル戦略や社員、パート、アルバイトさんの人財に絞っての対話をしましたが、「店舗オーナーさまとのコミュニケーションを拡充し、加えて人財の研修に力を入れてきたことで、アルバイトさんの離職率が大幅に低下し、満足度が高まってきて手ごたえを感じている」とのお話しも伺うことが出来ました。

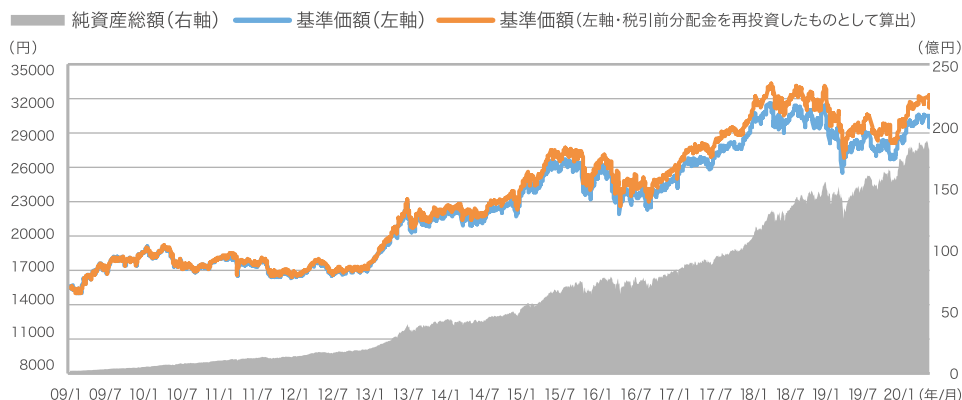
株式市場は、まだまだ新型肺炎の行方に神経質な展開が続くと思いますが、私たちは、日々、ファンドを磨き続けています。それがアクティブファンドの存在意義だからです。こんな環境下だからこそ、外部環境の変化に強い企業から構成されるコモンズ30ファンドにご期待ください。



コモンズ投信株式会社  
代表取締役社長  
伊井 哲朗

※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

## 基準価額の推移



## ファンドのデータ

(2020年1月31日付)

|       |           |
|-------|-----------|
| 基準価額  | 28,894円   |
| 純資産総額 | 18,320百万円 |

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30ファンドの費用」をご覧ください)。  
 ※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により減減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.078%(消費税込)です。  
 ※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

## 基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率

(2020年1月31日付)

| 過去1ヶ月間 | 3ヶ月   | 6ヶ月   | 1年     | 3年     | 5年     | 10年     | 設定来     |
|--------|-------|-------|--------|--------|--------|---------|---------|
| ▲1.57% | 0.42% | 9.11% | 10.63% | 19.92% | 35.91% | 127.39% | 212.71% |

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

## 分配実績(1万口あたり、税引前)

| 第6期<br>(2015年1月19日) | 第7期<br>(2016年1月18日) | 第8期<br>(2017年1月18日) | 第9期<br>(2018年1月18日) | 第10期<br>(2019年1月18日) | 第11期<br>(2020年1月20日) | 設定来累計  |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|--------|
| 220円                | 0円                  | 240円                | 250円                | 0円                   | 250円                 | 1,610円 |

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

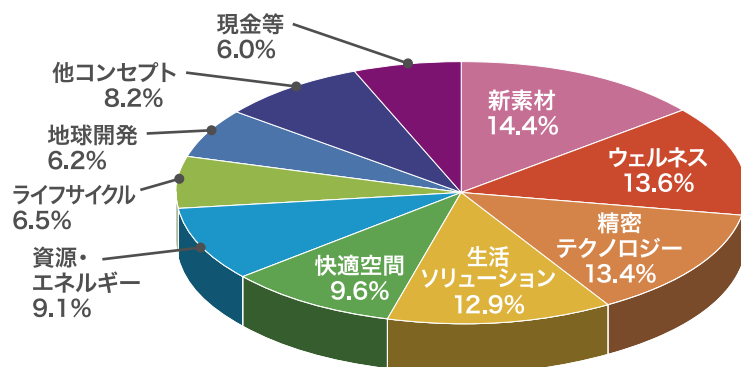
※当ファンドは2020/1/20に第11期目の決算を迎えました。分配金は250円とさせていただきます。11期目の決算を迎えられましたことに、改めて心から感謝とお礼を申し上げます。

## ポートフォリオの構成比

|      | 当月末   | 前月末比  |
|------|-------|-------|
| 株式   | 94.0% | ▲1.4% |
| 現金等  | 6.0%  | +1.4% |
| 構成銘柄 | 30社   | ±0社   |

●ポートフォリオの構成比と未来コンセプト別構成比に関しては、マザーファンドについての記載となります。

## 未来コンセプト別構成比



## 運用状況 (組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。)

### ◎運用レビュー

1月のファンドの月間リターンは▲1.57%の下落となりました。

### ◎運用責任者メッセージ

1月の内外金融市場は、昨年後半からの良好な相場環境を維持してスタートしましたが、直ぐに米国とイランとの対立の激化、そして、新型コロナウイルスの拡大懸念で調整モードに入り神経質な展開となりました。国内株式市場は、中国市場が春節で休場となる中、アジア株回避の動きが間接的に日本市場に集中した側面もあり、直接的にインバウンド関連、サプライチェーンに及ぼす影響から自動車関連などを中心に株価は下落しました。当ファンドは月間で▲1.57%の下落、投資先30銘柄中13銘柄が値上がり、17銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX(東証株価指数; 配当込)は▲2.14%、日経平均株価も▲1.91%でした。当面は新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまでは、下値を模索する展開を想定しています。こうした状況が投資先企業の業績に与える影響をしっかりとフォローしながら、慎重な運用スタンスで臨みます。外部環境の変化が不透明な時期こそ、強い企業への安心感は高まります。引き続き、当ファンドにご期待ください。

### ◎投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋谷健、上野武昭、末山仁、原嶋亮介 / ○は最高運用責任者

最高運用責任者 伊井 哲朗

## 組入上位10銘柄

(2020年1月31日付)

| コード  | 銘柄名      | 未来コンセプト  | 概要                                      | 組入比率 |
|------|----------|----------|-----------------------------------------|------|
| 4523 | エーザイ     | ウェルネス    | 患者家族まで心を配る徹底したステークホルダー経営                | 4.0% |
| 8035 | 東京エレクトロン | 精密テクノロジー | 創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社              | 3.8% |
| 6146 | ディスコ     | 精密テクノロジー | kiru, kezuru, migaku, 世界を代表する精密加工装置メーカー | 3.7% |
| 6367 | ダイキン工業   | 快適空間     | 世界一快適な空気をつくる                            | 3.7% |
| 8113 | ユニ・チャーム  | ライフサイクル  | 世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長                      | 3.7% |
| 4063 | 信越化学工業   | 新素材      | 戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性             | 3.6% |
| 6856 | 堀場製作所    | 精密テクノロジー | 「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大                 | 3.5% |
| 4911 | 資生堂      | ウェルネス    | 銀座も、アジアも、美しく                            | 3.5% |
| 6326 | クボタ      | 地球開発     | 日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与                  | 3.4% |
| 6586 | マキタ      | 快適空間     | 環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる                  | 3.4% |

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

## 新規組入投資先

なし

## 今月のピック!

### ◎(6586)マキタ

1月はマキタの株価が11.68%と大幅に上昇しました。下旬に発表の2020年3月期第3四半期累計決算がポジティブ視されました。世界景気が減速するなか、設備投資関連である同社製品の販売への影響が心配されていましたが、第3四半期(10-12月)の現地通貨別の売上高は、全地域で増収となりました。前年同期比で、日本5%増、西欧11%増、東欧・ロシア12%増、北米8%増、アジア11%増、中南米7%増、オセアニア8%増、中東・アフリカ11%増、などです。増収率を全社ベースでみると、前年同期比9%増と上期の同5%増から高まっています。製品の品揃え拡充や人員増、拠点への投資を拡大するなか、充電式の電動工具や園芸工具の拡販が進みました。なお、新型肺炎の影響について会社側は、完成品在庫や部品在庫を多く保有しているため、短期的な業績影響は限定的とみています。

シニア・アナリスト 上野 武昭

### ◎(8035)東京エレクトロン

1月は東京エレクトロンの株価が2.40%上昇しました。

米イランの対立激化によるリスクオフの流れのなか、半導体関連株は12月後半にかけて軟調に推移しましたが、1月初旬以降、両国の軍事衝突の可能性が低くなったとの見方が広がりリスクオンの流れに乗ったことに加えて、半導体受託生産世界最大手の台湾TSMC社が世界的な5Gの普及を背景に強気の設備投資計画を打ち出したことも追い風になりました。

1月30日に東京エレクトロン主催の機関投資家向け第三四半期決算説明会が開催され、参加いたしました。同社の河合社長からは、「事業は計画に沿って順調に進捗している」旨の発言があり、将来の需要拡大に備えるべく先行投資の継続を示唆しました。2020年の半導体前工程装置市場の見通しについても、具体的な開示はありませんでしたが、引き続き強気の見通しを示しました。今期は減収減益と一旦業績は落ち込みますが、来期以降の成長に向けて、着実に歩を進めているといった印象でした。

シニア・アナリスト 末山 仁

### ◎(9064)ヤマトHD

1月30日に発表した2020年3月期第3四半期決算は、営業利益が前年同期比で32.6%減、通期の営業利益予想も620億円から400億円へと大きく減額しました。宅急便の単価上昇は継続しているものの、その影響もあいまって取扱数量の減少傾向に歯止めがかかっていません。こうした状況下、決算発表に先立ち、1月23日には経営構造改革プラン「YAMATO NEXT100」を発表しました。4つの顧客セグメント(グローバル法人、地域法人、リテール、EC)単位で、それぞれの顧客に向き合う事業本部を置く組織体制へ転換すること、第一線の現場の勘と経験に頼るところもあつた物流オペレーションのデジタル化・効率化を推進することで客観的かつ科学的な経営の意思決定ができるようにすること、といった基本戦略に基づき、現在の生産性を大幅に改善することで収益性の向上を目指すものですが、この改革の進捗を注意深く見てゆく必要がありそうです。

アナリスト 原嶋 亮介



## 企業との対話

### 「ダイキンは環境のプラットフォーマーに」

11月26日に開催いたしました「コモンズ30塾サステナビリティレポートを読み解く〜ダイキン工業をお招きして〜」のイベントレポートをアップいたしました。ダイキン工業は、平成の30年で時価総額を急成長させた企業として、トップ10に入るほどの企業になりました。一方、創業者の山田晃が掲げた社は、「最高の信用」「進取の経営」「明朗な人の和」は、創業から現在も守りつづけているそうです。近年ではグローバル化が進んできたこともあり、2002年にグループ経営理念を制定、その最大の特徴を「人を基軸におく経営」としています。従業員一人ひとりの成長の総和がグループ発展の基盤であり、世界中の従業員が意欲・情熱をもって実行に移してこそ、事業の発展につながる。人の成長は無限である、そんなことを本気で考え、実行しています。また、同社の成長を実現してきた基盤を戦略経営計画FUSIONシステム



(<https://www.daikin.co.jp/investor/management/strategy/>)といい、5年サイクルでこのシステムを回しながら短期の収益力と長期の成長性の両立や、他社との連携など、さまざまな局面での融合を目指しているそうです。同社が主力事業とするエアコンは、最後の白物家電といわれるように、まだ右肩上がり成長を続けています。その一方で、空調機器は多くの電気エネルギーを使用します。そのため、「環境課題解決への貢献なしに、事業の発展はない」という考えのもと、製品や事業に起因する環境負荷の低減に尽力しています。これを具現化する取組として、「環境ビジョン2050」を掲げ、成長を続けながら「二酸化炭素の排出ゼロ」の実現を目指しています。

詳細はぜひこちらからお読みください。

### ■ダイキンサステナビリティレポートワークショップイベントレポート

#### ①人を基軸におく経営

<https://park.common30.jp/2020/01/30.html>

#### ②環境課題解決への貢献なしに、事業の発展はない

[https://park.common30.jp/2020/01/30\\_21.html](https://park.common30.jp/2020/01/30_21.html)

#### ③「CO2排出ゼロ」をめざす

<https://park.common30.jp/2020/01/30co2.html>

#### ④ディスカッション〜ダイキンが環境のプラットフォーマーに

[https://park.common30.jp/2020/01/blog-post\\_21.html](https://park.common30.jp/2020/01/blog-post_21.html)

マーケティング部 福本 美帆

## コモンズSEEDCapからのお知らせ

### 第11回コモンズSEEDCap応援先の選考がスタートします！

コモンズSEEDCap(シードキャップ)とは、私たちコモンズ投信が創業以来続けてきた社会起業家支援。社会課題にいち早く気づき立ち上がった社会起業家に、弊社が受け取る信託報酬の1%相当を寄付し、1年間広報支援などでも応援するというプログラムです。わたしたちは、寄付も、よりよい世の中を次世代へつなげる利他の「長期投資」と考えているため、寄付も投資と同じように本業として取り組んできました。

◇コモンズSEEDCapに関してはこちら → <https://www.common30.jp/fund30/seed>

さて第11回応援先より選考プロセスとスケジュールが変わります。下記をご確認ください。

(2020年2月)最終候補者3名を社内選考委員会によって選定、公開

\*第11回応援先選定より、直近の社会起業家フォーラム登壇者の中から参加者の声を参考に候補者1名を決定。

今回は、第11回フォーラム登壇者 NPO法人親子の未来を支える会 林伸彦さんが決まっています。

林さんのフォーラムでの動画はこちらをご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=xlq7hsrSy30&feature=youtu.be>

(2020年4月〜5月)お仲間(3月31日時点でコモンズ30ファンドをコモンズ投信の口座において所有されている受益者)のみなさまに、候補者の中から1名をお選びいただき、その推薦理由と共に当社にお知らせいただく。

(2020年5月末〜6月)最終選考委員会において、第11回応援先1名/1団体を決定、発表。

SEEDCap 担当 馬越 裕子



NPO法人親子の未来を支える会 林伸彦さん

## お客さまの声

セミナー参加者からいただいたお声を紹介します。

### コモンズ投信運用報告会



「長期的な視点で投資を考えていて安心した。課題先進国と言われる日本が抱えている問題について、社会貢献の観点で今後ますます取り組んでほしい。」



「今日のセミナーは、投資先についても、今後の経済・金融の見通しについても、目先のことではなく中長期的な観点でのお話が多かったのが、とても興味深く有意義でした。社長の「これからの30年は陽の時代」という言葉が印象に残っています。」



「これからは日本株よりアメリカ株と言われていますが、コモンズさんはselect力で日本株を主体にされている理由がよくわかりました。」

### はじめてのコモンズ(ファンド説明会)



「自社のサービスが良い、他社が悪いではなく中立的に教えてくださってとても印象が良かったです。」



「説明が的確であり、質問に対する回答もわかりやすかった。」

## Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。

<https://www.common30.jp/seminar/>

| セミナー名                                                   |           | 日付       | 時間          | 場所                                |
|---------------------------------------------------------|-----------|----------|-------------|-----------------------------------|
| コモンズ 30 塾【企業との対話】<br>コモンズ 30 ファンド投資先企業<br>ユニ・チャームをお迎えして |           | 3月16日(月) | 19:00～21:00 | 東京21Cクラブ(東京都千代田区)                 |
| 【こどもトラストセミナー】<br>おかねの教室「かきくけコモンズ」                       |           | 3月1日(日)  | 10:00～11:30 | コモンズオフィス(東京都千代田区)                 |
| 【ライブ配信WEBセミナー】<br>はじめてのコモンズ(ファンド説明会)                    | 【ライブ配信】   | 2月26日(水) | 14:00～15:00 | お好きな場所で!                          |
| はじめてのコモンズ(ファンド説明会)                                      | 【お子様連れ歓迎】 | 2月10日(月) | 13:30～15:00 | コモンズオフィス(東京都千代田区)                 |
|                                                         |           | 2月15日(土) | 10:00～11:30 |                                   |
|                                                         |           | 2月18日(火) | 18:30～20:00 |                                   |
|                                                         | 【池袋】      | 2月20日(木) | 18:30～20:00 | 貸会議室マイ・スペース&BB 池袋西武横店<br>(東京都豊島区) |
|                                                         | 【お子様連れ歓迎】 | 2月21日(金) | 13:30～15:00 | コモンズオフィス(東京都千代田区)                 |
| 2020年は変化の起点<br>注目の企業をファンドマネージャーが語る<br>～ザ・2020ビジョンとは～    |           | 2月17日(月) | 18:30～20:00 | カフェサルバドルビジネスサロン<br>(東京都中央区)       |
| 2020年からの資産形成に大切なこと<br>(ファンドの説明含む)                       | 【金沢】      | 2月29日(土) | 14:00～16:30 | 近江町交流プラザ(石川県金沢市)                  |

## 販売会社一覧

| 販売会社名称        |          | 登録番号                 | 加入協会        |                         |                         |                |                            | つみたて<br>NISA取扱 |
|---------------|----------|----------------------|-------------|-------------------------|-------------------------|----------------|----------------------------|----------------|
|               |          |                      | 日本証券業<br>協会 | 一般社団法人<br>金融先物取引業<br>協会 | 一般社団法人<br>日本投資顧問業<br>協会 | 日本商品先物<br>取引協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商品<br>取引業協会 |                |
| ソニー銀行株式会社     | 登録金融機関   | 関東財務局長<br>(登金)第578号  | ○           | ○                       |                         |                | ○                          |                |
| PWM日本証券株式会社   | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第50号   | ○           |                         |                         |                | ○                          |                |
| 楽天証券株式会社      | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第195号  | ○           | ○                       | ○                       | ○              | ○                          | ○              |
| マネックス証券株式会社   | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第165号  | ○           | ○                       | ○                       |                |                            | ○              |
| 株式会社SBI証券     | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第44号   | ○           | ○                       |                         |                | ○                          | ○              |
| 株式会社秋田銀行      | 登録金融機関   | 東北財務局長<br>(登金)第2号    | ○           |                         |                         |                |                            | ○              |
| 株式会社足利銀行      | 登録金融機関   | 関東財務局長<br>(登金)第43号   | ○           | ○                       |                         |                |                            |                |
| 株式会社栃木銀行      | 登録金融機関   | 関東財務局長<br>(登金)第57号   | ○           |                         |                         |                |                            | ○              |
| 株式会社横浜銀行      | 登録金融機関   | 関東財務局長<br>(登金)第36号   | ○           | ○                       |                         |                |                            | ○              |
| 株式会社イオン銀行     | 登録金融機関   | 関東財務局長<br>(登金)第633号  | ○           |                         |                         |                |                            | ○              |
| 株式会社北海道銀行     | 登録金融機関   | 北海道財務局長<br>(登金)第1号   | ○           | ○                       |                         |                |                            | ○              |
| エース証券株式会社     | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長<br>(金商)第6号    | ○           |                         |                         |                |                            | ○              |
| 岡三オンライン証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第52号   | ○           | ○                       | ○                       |                |                            |                |
| 株式会社静岡銀行      | 登録金融機関   | 東海財務局長<br>(登金)第5号    | ○           | ○                       |                         |                |                            | ○              |
| 静銀ティーエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長<br>(金商)第10号   | ○           |                         |                         |                |                            | ●              |
| 株式会社福岡銀行      | 登録金融機関   | 福岡財務支局長<br>(登金)第7号   | ○           | ○                       |                         |                |                            | ●              |
| 株式会社熊本銀行      | 登録金融機関   | 九州財務局長<br>(登金)第6号    | ○           |                         |                         |                |                            | ●              |
| 株式会社親和銀行      | 登録金融機関   | 福岡財務支局長<br>(登金)第3号   | ○           |                         |                         |                |                            | ●              |
| 株式会社百五銀行      | 登録金融機関   | 東海財務局長<br>(登金)第10号   | ○           | ○                       |                         |                |                            |                |
| 松井証券株式会社      | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第164号  | ○           | ○                       |                         |                |                            | ○              |
| 野村證券株式会社      | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第142号  | ○           | ○                       | ○                       |                | ○                          | ●              |
| 浜銀TT証券株式会社    | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第1977号 | ○           |                         |                         |                |                            | ●              |
| FFG証券株式会社     | 金融商品取引業者 | 福岡財務支局長<br>(金商)第5号   | ○           |                         |                         |                |                            | ●              |

●はつみたてNISAのみ

## 販売会社一覧

| 販売会社名称         |          | 加入協会                 |             |                         |                         |                |                            | つみたて<br>NISA取扱 |
|----------------|----------|----------------------|-------------|-------------------------|-------------------------|----------------|----------------------------|----------------|
|                |          | 登録番号                 | 日本証券業<br>協会 | 一般社団法人<br>金融先物取引業<br>協会 | 一般社団法人<br>日本投資顧問業<br>協会 | 日本商品先物<br>取引協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商品<br>取引業協会 |                |
| 株式会社京葉銀行       | 登録金融機関   | 関東財務局長<br>(登金)第56号   | ○           |                         |                         |                |                            | ●              |
| 株式会社十六銀行       | 登録金融機関   | 東海財務局長<br>(登金)第7号    | ○           | ○                       |                         |                |                            |                |
| 株式会社鳥取銀行       | 登録金融機関   | 中国財務局長<br>(登金)第3号    | ○           |                         |                         |                |                            |                |
| tsumiki証券株式会社  | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第3071号 | ○           |                         |                         |                |                            | ○              |
| 百五証券株式会社       | 金融商品取引業者 | 東海財務局長<br>(金商)第134号  | ○           |                         |                         |                |                            |                |
| auカブコム証券株式会社   | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第61号   | ○           | ○                       |                         |                |                            | ○              |
| 株式会社ジャパンネット銀行  | 登録金融機関   | 関東財務局長<br>(登金)第624号  | ○           | ○                       |                         |                |                            | ○              |
| 株式会社西日本シティ銀行   | 登録金融機関   | 福岡財務支局長<br>(登金)第6号   | ○           | ○                       |                         |                |                            |                |
| 株式会社七十七銀行      | 登録金融機関   | 東北財務局長<br>(登金)第5号    | ○           | ○                       |                         |                |                            | ●              |
| 株式会社伊予銀行       | 登録金融機関   | 四国財務局長<br>(登金)第2号    | ○           | ○                       |                         |                |                            | ●              |
| 四国アライアンス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 四国財務局長<br>(金商)第21号   | ○           |                         |                         |                |                            | ●              |
| 株式会社十八銀行       | 登録金融機関   | 福岡財務支局長<br>(登金)第2号   | ○           |                         |                         |                |                            | ●              |
| 京都信用金庫         | 登録金融機関   | 近畿財務局長<br>(登金)第52号   | ○           |                         |                         |                |                            |                |
| 株式会社佐賀銀行       | 登録金融機関   | 福岡財務支局長<br>(登金)第1号   | ○           | ○                       |                         |                |                            |                |
| LINE証券株式会社     | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第3144号 | ○           |                         |                         |                |                            |                |
| 株式会社山梨中央銀行     | 登録金融機関   | 関東財務局長<br>(登金)第41号   | ○           |                         |                         |                |                            |                |

●はつみたてNISAのみ

## ■ コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

|                        |                                                                                                                                                                           |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 価格変動リスク                | 当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。                                        |
| 流動性リスク                 | 有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があります。この場合、不測の損失を被るリスクがあります。 |
| 為替変動リスクおよび<br>カントリーリスク | 外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。                                            |

## ■ その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



## コモンズ30ファンドの費用について

|              |                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 購入時手数料       | (コモンズ投信の場合)ありません。<br>(委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%(消費税込)が上限となっております。                                                                                                    |
| 換金手数料        | ありません。                                                                                                                                                                                                               |
| 運用管理費用(信託報酬) | ファンドの純資産総額に年税込1.078%(税抜0.98%)を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。                                                                                                                                  |
| 信託財産留保額      | ありません。                                                                                                                                                                                                               |
| その他の費用・手数料   | 当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年率0.11%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。 |

## お申込みメモ

|             |                                                                                                                                                                       |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商品分類        | 追加型投信／内外／株式                                                                                                                                                           |
| 信託設定日       | 2009年1月19日                                                                                                                                                            |
| 信託期間        | 無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)                                                                                                             |
| 分配方針等       | 毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。<br>よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。<br>なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。 |
| 購入単位        | 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。                                                                                                                                    |
| 購入価格        | 購入申込日の翌営業日の基準価額                                                                                                                                                       |
| 換金単位        | 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。                                                                                                                                    |
| 換金価額        | 換金申込日の翌営業日の基準価額                                                                                                                                                       |
| 換金代金の支払い開始日 | 換金申込日から起算して5営業日目                                                                                                                                                      |
| 申込締切時間      | 購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。<br>午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。                                                                                                          |

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご確認のうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第2061号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
**コモンズ投信株式会社**  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■コールセンター(受付時間/平日9時~17時)

**03-3221-8730**

■ウェブサイト

**<https://www.common30.jp/>**